

梨の花



市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

「わからない」「なぜ」は素敵なこと あなたの笑顔は力です

校長 清田 博之

(今回は、全校児童に向けてのメッセージです。)

師走、12月です。今年もあと1か月になりました。寒くなりましたが元気な顔が見られて嬉しいです。コロナ禍の中、命の大切さをみんなが確認しました。世界にたった一つしかない私の命、他の人の命が一番大事です。

先日、校内を回っているとこんな場面を見かけました。ある子が「これわからない」というと、別の子が「どれどれ」と一緒に問題を解いていました。素晴らしいです。ノーベル賞を取られた方々も「わからないこと」を発見し、「なぜ」を追求し続けた結果、あらゆる発明にたどり着かれました。発明家や研究者たちはわからないからこそ調べ、たくさんの失敗を乗り越えて成功をしています。「わからない」を見つける力は素晴らしいことなのに、何故だかわからないことは恥ずかしいことだと勘違いをしている人がたくさんいます。皆さんの教室ではどうですか。先ほどの話のように、皆さん全員に「わからないを発見する力」があります。「一緒に考える力」もあります。コロナのように、誰もが初めてのことや、答えが決まっていない問題、当たり前だったことがそうでないことも多くあります。まずは、課題に自分から関わることです。じっと待っているだけではもったいないです。自分の考えを行動に結びつけるために声を出す。「わからない」はそんな素敵な言葉です。人には色々な面があります。考えも様々です。自分と同じ考えでない人の方が多いはずです。

そんな時こそ対話です。自分と違う意見は、自分の意見をより深く確かなものにしてくれるのに役立ちます。自己の考えをしっかりと持つために「わからないこと」からスタートしていきませんか。一人ひとりが自分の考えを持ち、よりよく生きていければ未来は輝きます。違う意見はより考えを高めます。誰も取りこぼさず、よりよい社会にするためにみんなまで対話しましょう。対話ができるのが仲間です。仲間の存在が嬉しいです。

人は支え合って社会を創っています。助け合う行動の基は「いたわり」です。「思いやり」や「優しさ」です。「他人の痛みを感じる心」です。師走のこの時期に、振り返ってみてください。命を守ってきたことは何よりも素晴らしいです。私は皆さん一人ひとりの笑顔に元気をもらっています。皆さんが思うよりずっと笑顔は周りの人を明るくします。全員にそんな力があることも覚えておいてくださいね。くる年を、より頼もしい自分や仲間と共に楽しい年を創ってくれると信じています。



☆3年 校外学習 市内見学 (12月3日) ☆

年内最後の校外学習として3年生が市内見学に出かけてきました。
(5年は年明けの1月21日に鴨川シーワールドに行きます。)

穏やかな天候に恵まれ先ずは、南の市川港へ。海苔の養殖や埋め立て地にある多くの工場の様子を見学した後に、少し北上して行徳へ。そこでは昔の河川交通の名残の「常夜灯」や「中台神輿店」を見学しました。特に、普段なかなか目にすることがない神輿作りの様子は子どもたちにとって新鮮だったようです。お昼は、市内の北部にある「歴史博物館」や「考古博物館」「堀之内貝塚」を見学。学校に戻る際には、市内の梨づくりのメッカ「大町梨街道」を通りました。盛沢山で少し子供たちも疲れたようでしたが、実りの多い校外学習になりました。



☆1年 生活科の学習で「あきまつり」をしました。☆

1年生は生活科の学習で「あきまつり」をしました。
どんぐりごま、まつぼっくりけん玉、まつぼっくりのツリー…など、生活科での学びをみんなで楽しみました。

